

## 入学式来賓挨拶

学校法人大阪観光大学理事長の山本です。本日は、韓国、中国、香港、ベトナム、マレーシア、インドネシア、バングラディシュ、ネパールという八つの国・地域そして日本からの入学生を迎えました。おめでとうございます。また入学ありがとうございます。

今日は、オンラインで参加されているご家族の方にも、同じ気持ちを お伝えしたいと思います。

さきほどは山田大阪観光大学長からの挨拶がありました。私は、学校法人大阪観光大学の理事長です。学校法人ってなに、理事長とはなに。学長とどう違うのと疑問に思われるかと思います。

少し説明しましょう。日本では学校、大学を設置することができるのは、国、地方公共団体、そして私立学校を設置できる学校法人だけです。この学校法人は理事会が経営責任をもち、その責任者が理事長ということです。そして学長は、教育研究に責任をもつ立場で、この入学式を主催しています。

ところで大阪観光大学を設置する法人は、昨日までは「学校法人明浄学院」であり、高校も設置する法人でしたが、本日より大阪観光大学のみを設置する「学校法人大阪観光大学」となりました。そして本日九時から開催された第一回理事会で私が理事長に選任され、いまここに立っているのです。任期は四年、みなさんの卒業までの四年間、この大学の経営に責任をもつことになります。経営に責任をもつとは、学生のみなさんの自らを成長させようとする取り組み、それを支える教職員 の活動の基盤の整備し、強化することです。幸い理事をはじめ本学に関心をよせていただいている多くの方がおられますので、このみなさんのご助力をえて私も奮闘する所存です。

さきほどの理事会では、新たな法人のスタートに当たり、「大阪観光

大学憲章NONN」「大阪観光大学一〇の約束」および「大阪観光大学教職員行動指針」を決めました。「憲章」とは、この法人、この大学がめざす新たな理念です。「一〇の約束」は、法人として、大学としてなにを具体的にするのかという事業計画、学生のみなさん、社会への約束です。そして「行動指針」は、この法人、大学で働く教職員の行動倫理です。大阪観光大学は、この数年経営者の不祥事があり、学生、教職員は、大変な苦勞をしました。この3つの文書は、この苦勞のなかから生み出されたものです。

これらの「憲章」「約束」「行動指針」が、紙切れで終わらないように、教職員は一年間ワークショップ形式で、これを身に着けていきます。

以上は大学のなかでのことですが、みなさんの安心した学びの環境を保障するためには、大学をとりまく、外の世界が平和でなくてはなりません。

いま新型コロナ禍で苦しみ、そこからの脱出に知恵を集めているこの時に、世界では、大規模な戦争へ展開しかねない事態に直面しています。ウクライナの問題です。この入学式には、日本以外の8つ国、地域の方が、日本という外国で学ぼうという方がいるわけですが、ウクライナでもインドをはじめ多くの外国人学生が学んでいたようです。彼らは、ウクライナからの脱出を余儀なくされています。戦争は、学びを中断させてしまします。子ども、若者の希望がたたれています。核兵器の使用の可能性が語られ、爆発すれば核兵器以上といわれる原子力発電所が武力攻撃の的になっています。

私は、みなさんのような若者の未来を、戦争で奪ってはならないと強く思います。

日本は一九四五年以前、いまのロシアのように、東南アジアの諸国を侵略しました。みなさんのお爺さん、おばあさん世代の方々のなかには、

その被害にあわれた方、記憶に残している方もあると思います。

日本社会は、一九四五年敗戦のあと、その侵略行為を反省し、日本国憲法前文において「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意」し「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」と宣言しました。また日本国憲法第九条において「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。」とも宣言しています。この理念こそ世界平和を維持し、学び続けることを可能にするものです。

みなさんが学ぶ日本という国は、こうした憲法をもつ社会です。みなさんが安心して学べる環境をつくることを憲法が保障しています。この保障が壊されることのないように努力することも、この大学を経営するものの責任だと思っています。

みなさんは、この大学が新たな目標にむけてのスタートする時に入学してきました。この四年間、みなさんとともにこの大学を新しい姿に変えていくことを楽しみにしています。

以上お祝いのごとば、また私の理事長としての決意の表明といたします。

二〇二二年四月一日

学校法人大阪観光大学理事長

山本健慈